

平成 30 年 1 月 17 日八尾市立八尾小学校のおおさか元気広場を訪問しました。

週に一回の放課後子ども教室

八尾市立八尾小学校では、放課後子ども教室を毎週水曜日の放課後に実施しています。

1 年生から参加することができ、週ごとに 1 年生、2 年生、3 年生、4 年生～6 年生に割り振られています。

1 年生から 3 年生までは、宿題や自主学習、4 年生～6 年生は自習学習と漢字検定の練習に取り組んでいます。

今回は、4 年生～6 年生の自主学習と漢字検定の取り組みを取材させていただきました。



ボランティアさんは総勢 30 人

ボランティアの方は総勢 30 人、委員長の米澤さんを中心に組織され、コーディネーターの加仲さんが、アルバイトのシフトを組むかのように、それぞれの方に予定を確認し、担当する方を決めておられます。

スタッフは、地区福祉委員会、自治振興委員会、PTA、育成会と様々な団体から、この教室に関わっておられます。中には、「この学校の卒業生です!」と話される方もおられ、放課後だけでなく、毎週金曜日に学校で読み聞かせも行っておられるとのことでした。



漢字検定にチャレンジ!!

八尾小学校の取組みの大きな特徴が漢字検定への挑戦です。年に数回実施されている漢字検定のうち、二月実施の回に学校を準会場として提供し、団体で受検されています。全児童数の約 3 分の 1 が受検とするというから驚きです。そして合格率は 90%以上!

それまでは、他の会場での受験や、近隣の中学校での受験を呼びかけたこともあったそうですが、会場が遠かったり、友達と一緒に受けられなかったりといった理由で、申込みが少なかったそうです。

そこで、学校と相談の上、小学校を会場に団体での受験を提案、現在の取り組みへとつながっています。



1 時間超を集中して学習

時間が来ると子どもたちが、三々五々集まってきました。始めの 10 分程度は宿題に取り組む時間です。宿題が終わると、それぞれが漢字のプリントに取り組みます。

この漢字のプリントもコーディネーターさんを中心に作成されているとのことでした。また、早くプリントが終わってしまった子たちのために、パズルや迷路などのプリントも準備する等、細やかな配慮が随所で見られました。ボランティアの方がアドバイスやヒントなどの声掛けをされていて、活動開始から一時間、わきあいあいとした雰囲気の中で、宿題や漢字のプリントに集中して取り組んでいました。

